

地震が起きたとき 行動のポイント

1 グラツときたら身の安全

揺れを感じたり、緊急地震速報があったときは、まず身を守りましょう



2 落ち着いて 火の元確認 出口を確保

揺れがおさまったらあわてずに火の始末をし、避難できる出口を確保しましょう

3 正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、区などからの正しい情報を入手して、適切な行動をとりましょう

4 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

自宅の安全や近所の方の安否を確認し、協力してできる範囲で救出・救護をしましょう

5 余震や火災 正しい避難 安全確認

自宅にとどまることが危険なときは、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難しましょう

風水害に備えましょう

集中豪雨による浸水対策

雨水の排水溝をこまめに掃除したり、区内24か所に設置している土のうステーションを活用するなどして、被害を最小限に抑える備えをしておきましょう。



河川の大規模氾濫(洪水・高潮)からの避難行動

まずは

やむをえず

最終手段の

具体的な
避難方法

区外へ広域避難

できるだけ早い段階で、**区外の高くて安全な土地へ自主的に避難**しましょう。

区内避難

待避施設(小・中学校)、**地域防災拠点**(大島、小松川公園・葛西南部地区など)に避難してください。

垂直避難

避難する時間がない場合、**3階以上の頑丈な建物へ緊急に避難**してください。

注意

気象情報に注意し、**天候が悪化する前に行動を開始**しましょう。

待避施設には、**十分なスペースや物資がありません**。地域防災拠点は**雨ざらしの屋外**です。

救出まで**孤立した状態が長く続く**ことがあります。**多量の備蓄が必要**です。

避難勧告・指示が出た場合は**速やかに避難を開始**しましょう



ご存じですか？避難場所



※震災が発生した場合、区立小・中学校などが避難所となります。
※避難場所とは、震災で万が一、避難所にも延焼火災の危険性がある場合などに生命や身体の安全を確保するため一時的に避難する場所です。

防災機関連絡先

	機関名	所在地	電話
区役所	江戸川区役所	中央1-4-1	3652-1151
警察署	小松川警察署	松島1-19-22	3674-0110
	葛西警察署	東葛西6-39-1	3687-0110
	小岩警察署	東小岩6-9-17	3671-0110
消防署	江戸川消防署	中央2-9-13	3656-0119
	・小松川出張所	平井1-8-8	3638-0119
	・瑞江出張所	西瑞江3-26	3679-0119
	葛西消防署	中葛西1-29-1	3689-0119
	・船堀出張所	船堀6-11-17	3688-0119
	・南葛西出張所	南葛西4-4-12	3680-0119
	小岩消防署	鹿骨2-42-11	3677-0119
	・篠崎出張所	南篠崎町5-13-1	3678-0119
	・南小岩出張所	南小岩5-13-13	3673-0119
	・北小岩出張所	北小岩3-1-20	3672-0119
水道局	江戸川営業所	松江5-4-12	5661-5085
下水道局	東部第二下水道事務所	葛飾区小菅1-2-1	5680-1268
電気	東京電力江東支社本館	江東区大島3-4-5	0120-995-002
ガス	エネスタ東陽	江東区猿江2-4-1	0570-00-2211
電話	NTT 東日本	新宿区西新宿3-19-2	116

わが家の防災

災害から
身を守る



平常時から家族で話し合いをしておきましょう

突然やってくる大地震に備えて、定期的に「災害時の連絡先・避難場所」「家族の役割分担」などを確認しておきましょう。

災害時に正しく行動するには、**正確な情報を収集することが必要です!**

→テレビ・ラジオから情報を得る

FMえどがわ(84.3MHz)からは、区内の災害情報を知ることができます

→江戸川区から発信される情報を確認する

携帯電話やスマートフォンから、ツイッター江戸川区公式アカウントをご覧ください。

災害発生!



江戸川区

危機管理室防災危機管理課 TEL.5662-2129

ホームページアドレス

<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kurashi/moshimo/bosai/index.html>

命を守る備えをしましょう

■家屋の耐震補強をしましょう

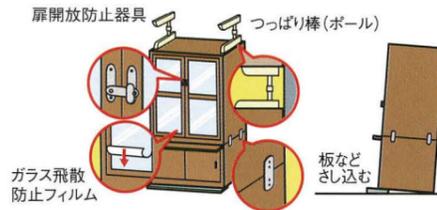
江戸川区では、「耐震コンサルタント派遣制度」により相談員を派遣し、住まいの耐震対策について無料で調査や相談を行っています。

【問い合わせ】

住宅課計画係 TEL.5662-6387

■家具の転倒を防ぎましょう

地震のとき、倒れてくる家具によって命を落とすことがあります。「倒れる」「落ちる」危険を少なくしましょう。



■水や食糧を備蓄しましょう

飲料水(一人あたり3リットル/日)
非常食(アルファ化米、缶詰など)



●個別の事情に応じた備蓄品を用意

- 例 小さなお子様がいる家庭
哺乳瓶、粉ミルク、紙オムツ など
- 例 疾病などにより日常的に薬が必要な方のいる家庭
処方薬、おくすり手帳 など

●その他、準備しておきたいもの

携帯ラジオ、携帯用トイレ、身分証(免許証、保険証など)、懐中電灯、常備薬、メガネ、洗面用具など



■情報ツールの確認・登録をしましょう

●えどがわメールニュースにメールアドレスを登録し、災害時に情報を入手できるようにしましょう。



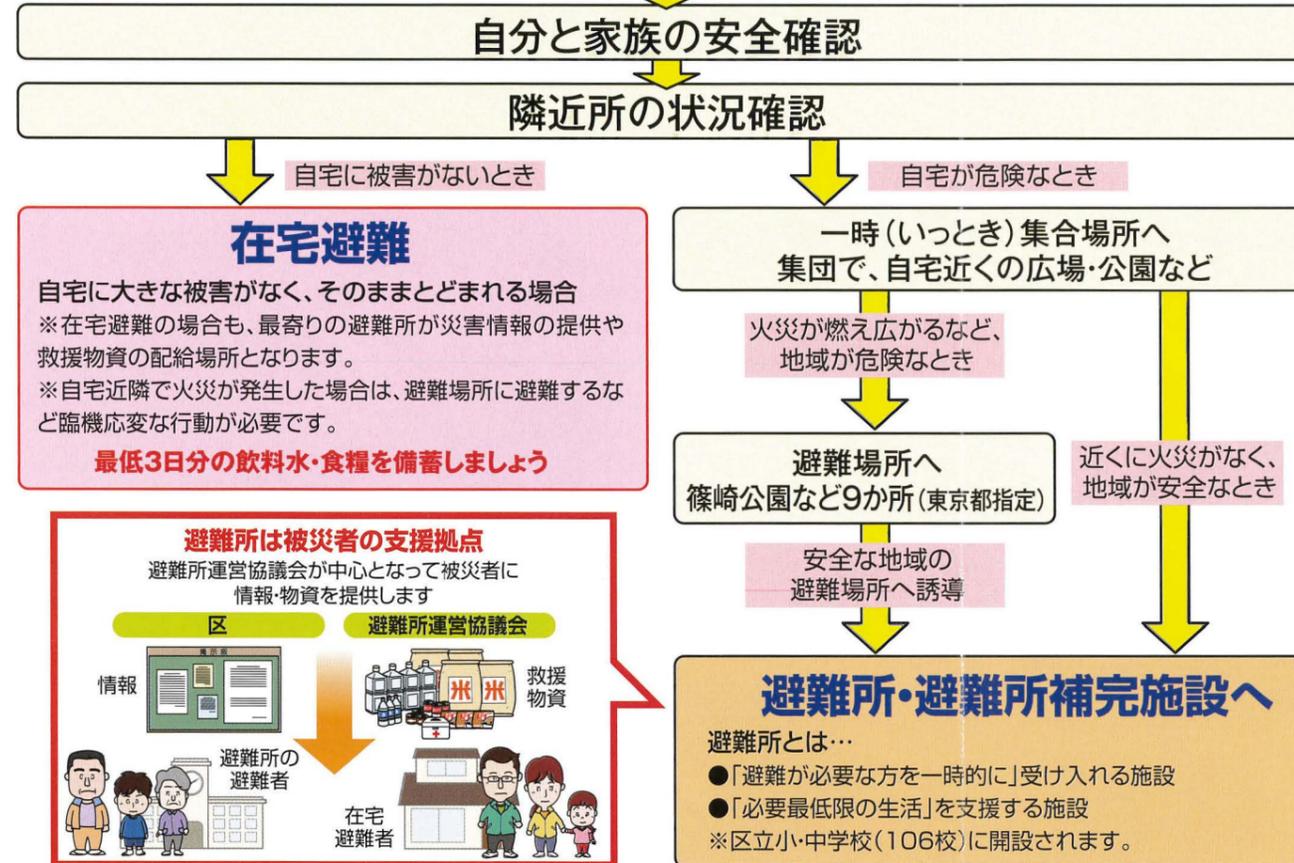
えどがわメールニュース案内ページ
(江戸川区公式HPより)

●江戸川区公式ツイッターをお気に入り登録しておき、災害発生時すぐに情報を確認できるようにしましょう。



地震が起きたら

大地震発生!!



■地域で協力しましょう

防災訓練、自主防災組織

町会・自治会によって、防災訓練が定期的に行われています。ご近所同士で助け合い、災害時に適切な行動が取れるようにしましょう。



避難所運営協議会

避難所を円滑に運営していくため、区民・小中学校の教職員・区職員が連携する「避難所運営協議会」を設置します。運営についての話し合いや訓練など、協議会の活動に積極的に参加しましょう。

■災害用伝言ダイヤル171

被災地の方が録音した安否等に関する情報を他の地域の方が聞くことができるほか、他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。

【体験利用可能期間】

- ◎毎月1日・15日
- ◎お正月3が日
- ◎防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)
- ◎防災週間(8月30日～9月5日)

※伝言は被災地の方の電話番号を知っている全ての方が聞くことができます。聞かれないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。※伝言の録音は30秒以内、保存は48時間、1電話番号あたり最大10伝言可能です。

火災による延焼を防ぎましょう

区内各所に設置してある消火器を使い、火災の拡大を防止しましょう。



防災行政無線 FMえどがわ84.3MHz

テレビなどでの情報収集のほかに、江戸川区内の災害状況などを知りたい場合に聞くことができます。



FM えどがわ 84.3MHz

